



長崎被災協・被爆二世の会・長崎

長崎被災協・二世の会 ニュース

No. 5

発行日
2013年5月20日

長崎市岡町8-20被災協気付
☎ 095-844-0958
長崎被災協・被爆二世の会・長崎

2013年度総会を開催

4月27日（土）13時半より被災協2階会議室で「長崎被災協・被爆二世の会・長崎」2013年度総会を開催しました。（参加者28名（うち会員18名、メディア7社））

オープニングは会員の岡本夫妻（はむingはーと）による歌とギター演奏で、会場の雰囲気が一気に和やかになりました。奥様が原爆ドキュメントを見て作詞したというオリジナル曲は、被爆者の思いが込められていて参加者たちの胸を打ちました。

被爆犠牲者の方々へ黙祷を捧げた後、高森ひとみさんを議長として選出し開会宣言後、議事進行しました。

佐藤会長の挨拶（後に掲載）後、来賓の谷口稜暉・長崎被災協会長は「被爆者は非核三原則を守るため法制化を求めていく。二世の皆さんのおかげでバトンタッチができるので心強い。これから、ともに頑張っていきたい。」と述べました。

二世の会・諫早より事務局長が挨拶し、現在の諫早の状況報告や今後、長崎と共同で行う企画を考えられないかなど、建設的な意見が出ました。



また、諫早、福岡、熊本、鹿児島の二世の会から連帯のメッセージをいただき紹介しました。ここでは抜粋して一部分を掲載します。

「私たち「被爆二世の会・諫早」としても、被爆者の高齢化で被爆体験の継承問題が注目される中、近年の原発事故を踏まえ「核問題の当事者として重大な位置を占めている」と思いますので長崎と歩調を合わせ活動していきたいと思います。今日、今から、戦争、核兵器のない世界をつくるため頑張りましょう（長崎被災協・被爆二世の会・諫早）」



「貴会におかれましては昨年の結成以降、着実に会員を増やされ、二世の思いと要求の実現のために、被爆者運動の継承と核兵器廃絶の為に奮闘されていることに敬意を表します。二世運動づくり等でともに交流を深め、二世運動をともに前に進めていきましょう。（福岡被爆二世の会）」

「自分の父母や祖父母が被爆者であったということを知り、直接父母や祖父母の被爆体験を聞き、大変な状況の中で生き抜いてきてくれた父母や祖父母に感謝をしつつ、まずは、被爆二世・三世である私たちがそれぞれの思いや悩みを出し合えるような場が必要です。そのような場として、被爆二世の会がなっていきましょう。そして二度とヒバクシャを生み出さないために、体験を後世まで伝えていく活動など、さまざまな活動に参画し誠実に一つ一つの活動を継承していきましょう。（熊本県被爆二世・三世の会）」



「私達二世はこれから何をしていけばいいのでしょうか。仲間を増やす・二世援護を勝ち取る・被爆実相を風化させないために語り継ぐ等々、様々な目的があります。目的一つ一つに違うやり方があります。そうしたやり方を、私達皆で考え共有し、一緒に目的に向かって行きましょう。被爆地と言うことで、他県よりも困難や葛藤が多いと思いますが、無理をせず一步一步階段を上がって頂きたいと願っております。（鹿児島県原爆被爆二世の会）」

議会は、会長、事務局長より2012年活動報告と決算報告を行い、会則と活動方針の一部改定を提案し、審議のうえ、承認されました。これにより会則の役員と財政に関して改正し、新役員を選出、新役員8名を紹介しました。また、活動方針の一部を改正しました。会長より、2013年活動方針、活動計画、新会計より予算案を提案し承認されました。

2年目を迎え、さらに会員を拡大し、碑めぐりや学習会、被爆体験の聞き取りや二世健診の充実などに取り組んでいきましょう！

平成25年度被爆二世健康診断の案内にて、2世健診が推奨され総会を閉会しました。

エンディングには、国立追悼祈念館の朗読ボランティア講座を受講している会員の方が「レクイエム（大江和子著）」（一節抜粋）を、佐藤会長がお父様の被爆体験記の一部の朗読をおこない、会場は静まり返りました。被爆体験の継承の大切さを改めて感じる総会となりました。

最後に「はむingはーと」と参加者全員による「花は咲く」の合唱をおこない、総会は和やかに終了しました。



～佐藤会長挨拶～

当初9名でスタートしたこの会も、現在67名の人達に入会して頂きました。

殆どが個人の意思で集まって頂いた方で、それぞれの親の体験や、2世としての不安などの話をしながら、親交を深めた1年でありました。

去年は被団協にも2世委員会ができ、2世としての活動が活発化して、県外の2世の交流会とか学習会にも行ってきました。

被爆者の方々とも、一緒になって平和運動も行いました。

今後は私たち2世が、どういう方向に進めばいいのかを考える1年になると思います。

私自身入会するまでは、ほとんど2世という自覚が無く、原爆の事を深く知ろうという感じではありませんでした。

学び始めると、とにかく知らないことだらけで、まず、なにから手を付けていいのか焦る毎日でした。

しかし1年がたってみると、あきらかに1年前とは違う私がいると思っています。

たぶん会員の皆さんも、おそらくそうではないかと思っています。

何とかして被爆者の思い、そして私たち2世の思いを、後世に伝えて行きたい、という思いが生まれ来たんじゃないかと思っています。

もうすぐ被爆70周年を迎えますが、それに向かって、その思いをどういう形で表現し継承していけばいいのかというのを、今後具体化しないといけないと思います。

これからも会員の皆様に、いろんな意見をお聞きしながら、和気あいあいと、この会を進めていきたいと思っておりますので、今年度もまたよろしく願います。

新役員決定

総会にて選出された新役員の方々から、本年度の抱負を語って頂きました。

★会長★佐藤直子

昨年度に引き続き、今年度も会長を務めます佐藤直子です。

昨年度は、会発足1年目ということで、何から始めたらいいのか焦る気持ちでいっぱいでしたが、会員のみなさんの励ましやご協力により、何とか1年間会長として頑張ってきました。

昨年度まで2名だった役員を今年度は8名に増やし、更に充実した平和活動に取り組んでいきたいと考えています。

もっとたくさんの二世の方に入会して頂き、いろんなご意見を頂きながら、次世代のために何をすべきか考え、会を進めていけたらと思っています。

今年度も、会員のみなさんの益々のご協力をよろしくお願い致します。

★事務局長★柿田富美枝

9名でスタートした会だったので、1年目の役員は会長、事務局長の2名だけでしたが、今年度は8名の役員体制になり、とても心強く、大きな活動が展開していけるとワクワクしています。そして、何でも皆で相談しながら、民主的な運営をおこなっていきたいと思います。

二世として何ができるのか、何をしたいのか、じっくり話し合いながら、活動していきたいので、皆さん、よろしくお願い致します。

★副会長★岡本宏幸

佐藤会長、柿田事務局長のサポート、被爆者（語り部）の方のサポートは前提として、二世としての役割は三世、四世、未来の子供達に如何に、核廃絶の先への平和の思いを伝えるか？

その具現化に力を入れてゆきたいです！

★副会長★高森ひとみ

昨年度は只々、一生懸命、皆さんについて行くだけでした。

今年度は、二世としての自覚をしっかり持ち、二世の会の飛躍、平和活動に取り組みたいと思っています。

どうか、皆さんのご指導、ご協力、宜しくお願い致します。

★会計★堀 洋美

自分に何ができるかはわかりませんが、コツコツとがんばりたいと思います。よろしくお願い致します。

★会計監査★赤水ますみ

二世の会の発展の為、微力ながら頑張りますので、よろしくお願い致します。

★広報★川本昇平

誰かに何かのお役に立てれば幸いと思って、できる限り活動していきます。よろしくお願い致します。

★広報★田平由美

いろいろな情報を発信していきたいと思っています、それと同時に色々な情報を取り入れて行く事も大事だと思っています。力不足ですが、よろしくお願い致します。

二世の会・諫早の総会について

4月25日（木）19時半から、諫早・みのり会館にて諫早の第1回総会が行われました。長崎から佐藤会長と、岡本さん、高森さんの3人で初めて参加してきました。

まず、会員17名のうち12名出席という高い出席率に、感心させられました。

活動経過報告・会計収支報告の後、みなさんからたくさんの疑問、長崎の会への質問など活発な意見が交わされ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

森会長からもお話がありましたが、今年度は、ぜひ長崎・諫早合同でイベントを企画したいと思っています。

被爆二世無料健診について

4月1日から、25年度被爆二世無料健康診断の申し込みが始まっています。

二世健診の内容を充実したものに変わっていくため、1人でも多くの方が健診を受けましょう。

利用する人が少ないと、行政機関に改良を要求しても、説得力がありません。

できるだけ多くの方が健診に参加する事で、力になっていくと思います。

昨年度は約3580名の方が受診されました。申し込み期間は、平成26年2月14日（金）までです。申し込みは、長崎市内の方は、市役所や各支所の窓口、郵便、FAXで申し込みます。（長崎県内で長崎市外の方は長崎県庁原爆被爆者援護課、県外の方はお住まいの都道府県庁へお問い合わせください。）

平成25年度から、被爆者健康管理センター（もりまちハートセンター6階）では、長崎市内在住の一部の方（※1）に、有料（※2）で肺がん検診と大腸がん検診を併せて受診できるようになりました。

※1 被爆二世で40歳以上の方（但し、会社で実施するがん検診を受診できる方は除く）

※2 肺がん¥400 大腸がん¥600（但し、免除できる場合もありますので、詳しくは被爆者健康管理センター（Tel844-3100）までお問い合わせください）